

以上の循環像をボックスモデル的に表したのが図である。この図で太平洋、大西洋、インド洋と南極環海との境界を南緯50度付近に存在する南極前線に取っている。また躍層下の深層を深層と底層に分けており、そのおのおのは異なる循環を行っていることに注意されたい。

この循環像は、筆者が独断と偏見によって作成したものであり、今後の研究進展によって検証され更新されるべきものである。1990年から国際共同研究計画である

WOCE (世界海洋循環実験) が実施されている。この計画では、全世界の海洋において海面から海底、岸から岸の水温、塩分、種々の化学物質の高精度測定、そして要所をおさえた係留系による直接測流、また新開発のレイフォス・システムやアレス・システムによる、中層循環の直接測流などが行われる。WOCEによって世界の海洋の信頼できる循環像が確立されることが期待されている。

### 極域研究連絡会1992年春季研究会のお知らせ

1992年日本気象学会春季大会の前日午後に、極域研究連絡会主催の研究会を開催いたします。テーマとして、「南極域の物質循環」をとり上げます。雪氷学研究者を中心として現在進行中の「氷床ドーム深層掘削観測計画」にも深く関連し、かつ、「地球大気化学国際共同研究計画 (IGAC)」の下で進められている南極大気化学研究計画等にも関連のあるテーマであります。今回は、主に大気力学の観点からこの問題を議論します。また、その観点から今後の南極観測計画を議論し、この研究会を、その計画を煮詰めてゆく第一歩としたいと考えます。(今回の研究会以後も、このテーマの下で、主に大気化学の観点からの研究会、水循環をテーマとした研究会、大気力学および大気化学の総合的視点からの研究会、南極観測計画を詰める研究会等を開いてゆく予定です。) 皆様の積極的な参加を期待しております。

テーマ：南極域の物質循環

日時：1992年5月25日(月) 14:30—17:00

場所：気象学会大会C会場 (工業技術院共用講堂、つくば)

#### プログラム：

司会：大畑哲夫 (名大・水圏研)

1. 趣旨説明 (5分) 神沢 博 (極地研)
2. シンポジウム「地球気候における南極氷床の役割」  
(1990年5月22日)のレビュー (25分)

安成哲三 (筑波大)

コメント：内陸域での気象観測の展開 (15分)

榎本浩之 (北見工大)

3. 南極域での大気および水蒸気の循環 (25分)

山崎孝治 (気象研)

コメント：大気微量成分から見た南極域での物質循環 (15分)

村山昌平 (東北大理)

4. 南極域での大気中の物質循環観測計画について (25分)

神沢 博 (極地研)

コメント：カタバ風について (15分)

児玉裕二 (北大・低温研)

5. 総合討論 (25分)

(世話人) 神沢 博 (極地研)・安成哲三 (筑波大)

## 「大気—海洋相互作用研究会」開催のお知らせ

本誌2月号でお知らせ致しました「大気—海洋相互作用研究会」のプログラムが下記のように決まりましたのでお知らせ致します。ふるってご参加下さい。

(研究会事務局 藤谷徳之助・中沢哲夫)

### 記

1. 日時：1992年5月25日(月) 13:30~17:00
2. 場所：気象研究所 第一会議室
3. テーマ：中・高緯度における大気—海洋相互作用  
—特に10年スケールの変動に着目して—  
コッピナー：花輪公雄(東北大・理)

### 4. プログラム：

①13:30~13:40

越旨説明 花輪公雄(東北大・理)

座長 遠藤昌宏(気象研・海洋)

②13:40~14:25

北太平洋・北大西洋における海面水温変動  
の多重時間スケール構造

谷本陽一(東北大・理)

③14:25~15:10

Intramonthly~Interdecadal での北半球冬季のテレコネクションの実態及び全球海面水温変動との関連

川村隆一(防災科技研)

休憩

座長 住 明正(東大・気候セ)

④15:30~16:15

大気・海洋の10スケールの変動—観測データから—

新田 勲(気象大学校)

⑤16:15~17:00

大気・海洋の10年スケールの変動—GCMの結果—

鬼頭昭雄(気象研・気候)

## 研究会のお知らせ

春季大会(つくば)の翌日に下記の研究会が開かれる予定ですので、興味のある方はご自由にご参加下さい。

研究会名：IGBP/GAIM 研究会(仮称)

日時：1992年5月29日(金) 午前

場所：気象研究所

趣旨：日本学術会議の元に、日本におけるIGBPの研究グループの組織がつけられつつありますが、その中でもモデリングによる研究を主とするグループ(GAIM)が2月に発足致しました。その第1回の研究会を気象学会に合わせて開催し

ます。所属学会の如何にかかわらず、関心ある多数の人の参加を期待致します。

内容：未定(2~3人の講師によるレビュー)

世話人：及川武久(筑波大学・生物科学系)、木田秀次(気象研究所)

連絡先：〒305 つくば市長峰 1-1, 気象研究所応用気象研究部, 木田秀次

電話：0298-51-7111代, FAX：0298-55-7240

備考：詳しい日程・内容などは学会会場にてお知らせ致します。